

平成30年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
魅力ある観光資源の開発と整備	新しい観光資源の開発と整備	1	観光資源開発推進事業
		2	飛駒和紙保存会運営支援事業

事務事業名		観光資源開発推進事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光立市推進係	担当課長名	高橋 利彰		
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 新しい観光資源の開発と整備				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	平成27年度～ 年度	根拠法令 条例等	なし		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		その他内部事務事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長市政公約		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成30年度実績(平成30年度に行った主な活動内容)					
本市各地に埋もれている、多くの人にまだ知られていない観光資源の調査・発掘や、新たな観光ルートの開発によって、新たな観光資源として活用できるか調査研究を行う。		・新たな観光資源の候補件数 2件 ①報恩寺 天徳寺宝衍墓所とゆかりの地 看板設置 ②住友大阪セメント はとバスによる産業観光ツアーの実施(計6回203名参加)					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(見込)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
町会のお宝・自慢登録件数		件	506	506	507	507	507
新たな観光資源の候補として情報提供のあった件数		件	0	0	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

多くの人に知られていない観光資源		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(見込)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
調査研究した観光資源数		箇所		0	2	0	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

新たな観光資源として発掘・開発される。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(目標)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
新たに発掘・開発された観光資源数		箇所		0	2	0	1	1

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

知られていない観光資源が観光資源として整備されている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(目標)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
新たに開発・整備した観光スポット数		箇所		0	2	0	1	1

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(目標)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	0		0		0		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	3		3		3		3		3	
のべ業務時間	時間	480		450		450		450		450		
人件費計(B)	千円	1,832		1,719		1,719		1,719		1,719		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,832		1,719		1,719		1,719		1,719		

事務事業名	観光資源開発推進事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光立市推進係
-------	------------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	観光立市という、観光による佐野市の振興・まちづくりを推進するために開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	総合計画中期基本計画(平成22年度～平成25年度)の中で、「観光立市の推進」がリーディングプロジェクトとして位置づけられ、総合計画後期基本計画(平成26年度～平成29年度)においても引き続きリーディングプロジェクトとして位置づけられた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特に無し。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	特に無し。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 多くの人にまだ知られていない観光資源を発掘・開発することで、新たな観光資源につながり観光立市の推進に寄与するものであるため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 本市各地に埋もれている、多くの人にまだ知られていない観光資源を発掘・開発することは、市の新たな魅力を発見することであるため、住民からの情報提供を受けながら、最終的には市が行っていくものである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 多くの人にまだ知られていない観光資源を新たな観光資源として発掘・開発することが目的であるため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 新たな観光資源へとつながる事務事業であるため、観光資源へと昇華させるための方法の確立が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 人件費のみの事業であることから、事業費の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事務事業は、新たな観光資源を開発することで、観光立市の推進に寄与することを目的としているため、受益者は全市民となることから、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	市内の観光資源が全て発掘・開発されれば、本事業は終了することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) *評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 新たな観光資源をいかに発掘し、活かしていくのかという方法論の確立、掘り起こされた観光施設の経年経過後の確認方法について検討が必要である。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	

事務事業名		飛駒和紙保存会運営支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり				担当係	観光事業係	担当課長名	高橋 利彰	
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 新しい観光資源の開発と整備				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		市単独事業			
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業		任意的事業			
	事業区分		実施方法		一部委託		一部委託			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	なし				
	事業区分		実施方法		支援事業		支援事業			
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当		該当			
事業区分		市長市政公約		該当なし		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成30年度実績(平成30年度に行った主な活動内容)					
飛駒和紙保存会と連携を図り飛駒和紙のPRをしている。 ※飛駒和紙保存会は、伝統工芸である「飛駒和紙」の保存、製品の普及を図るため活動している。		(市の活動) 農林水産省「和の空間」での飛駒和紙の展示 H31.3.1～H31.3.31 (飛駒和紙保存会の活動)和紙会館の運営、和紙による卒業証書の作成、和紙すき体験指導 ・和紙すき体験団体数 18団体 ・卒業証書作成枚数 2460枚 農林水産省「和の空間」での飛駒和紙の展示 H31.3.1～H31.3.31					
活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (見込)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
補助団体数		団体	1	0	0		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

飛駒和紙保存会		対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (見込)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
会員数		人		8	8	8		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

飛駒和紙保存会の円滑な運営と財政の健全化を図る。		成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (見込)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
活動回数(イベント参加回数)		回		5	3	3		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

観光資源として整備されている。		上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (見込)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
開発・整備した観光資源数(観光ルート除く)		箇所		0	1	0		
開発・整備した観光ルート		ルート		0	1	0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(目標)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		400								
	事業費計(A)	千円		400	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	400								
人件	正規職員従事人数	人	1	1								
費	のべ業務時間	時間	20	10								
費	人件費計(B)	千円	76	38	0	0	0	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円		476	38	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業名	飛駒和紙保存会運営支援事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	観光立市推進課	担当係	観光事業係
-------	---------------	-----	---------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	伝統工芸である「飛駒和紙」の保存、製品の普及活動をしている飛駒和紙保存会の運営を補助するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成26年11月27日、ユネスコ無形文化遺産保護条約第9回政府間委員会(於:ユネスコ本部(パリ))において、「和紙:日本の手漉和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録された。平成25年の「和食」登録に続き、近年、世界的にも日本の文化が注目されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	担い手および資金が足りない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	団体ツアーを受け入れ、市外への周知を図ることができた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	観光資源として観光誘客を図ることを目的に支援しており、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	組織の活動目的は、飛駒和紙の技術伝承であり、営利目的でないため市の補助を必要とし、組織が無くなれば、飛駒和紙会館の運営が出来なくなるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	飛駒和紙の技術継承者の地域の住民が、地域の活性化と伝統工芸を伝えるため行うもので、対象・意図とも他に適任するものがない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	新たな作品・イベント等により認知度を上げ、多くの人に興味を持ってもらい、会員・体験者数を増加させることができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	受益者から必要最低限の負担を求めているため、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
飛駒和紙保存会が解散、または飛駒和紙の技術を伝承する必要が無くなったとき。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①会員・体験者数を増やすために、新たな作品の作成や周知イベントを実施する。 ②商品の適正価格での販売等、収入の確保に努める。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	①新たな体験メニューの作成。 ②販売先との調整。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持			×																					
	低下		×	×																					